

和地ひとみレポート No.332

令和2年度予算編成方針

来年度もギリギリの状況が予想される・・・

■来年度の予算編成がスタート

…9月の市議会定例会で昨年度の決算が認定されたところですが、10月2日には市長から「令和2年度予算編成方針」が各部課長に通知されました。毎年、翌年度の予算編成は10月初旬に市長から通知される予算編成方針を機にスタートしますが、今年の来年度予算編成は以下の日程で進められ、その編成の節目ごとに市のHPなどで進捗状況が公表されます。

【令和2年度の予算編成日程】

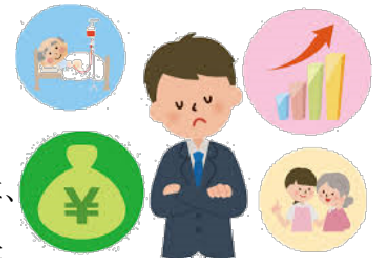
令和元年10月28日	見積書提出期限
令和元年11月8日～25日	企画財政部長調整
令和2年1月7日～9日	市長査定
令和2年1月22日	予算内示
令和2年2月上旬	予算案の決定

…特に一般会計については、上記見積書提出後の「予算見積額の集計状況」＝各部の予算を積み上げると歳入は合計でいくらになるのか、そして、見積もっている歳入と比較すると足りているのか、不足しているのかといった状況が公表されます。その後、「予算見積額の調整状況」がどのように各款（＝各部門）で行われたのかということが公表され、上記の通り1月上旬から中旬にかけて、市長による予算見積内容等の査定が行われ、当初予算における優先施策を中心に、実施計画に基づく主要事業等について、最終的な調整を行った後に、予算見積額の査定等の状況（予算案の確定）が公表されます。

■国、東京都の予算の動向に注視

…予算編成方針では、日本の経済状況についての認識が、内閣府の発表する月例経済報告を参考に示され、その後、国の予算編成の状況、そして、東京都の予算編成の状況について明記されています。これは、東大和市の予算編成には、国からの交付金や東京都からの補助金が大きく組み込まれていることもあり、国や東京都の予算編成が東大和市の予算にも影響があることを受けてのことです。

…来年度の国の予算編成については、国においても『歳出全般にわたり、これまでの歳出改革の取組みを強化すると共に、施策の優先順位を洗い直し無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化する』としています。年金、医療費にかかる経費については高齢化等に伴う自然増に対応して前年度の当初予算に5,300億円を加算した額の範囲内で、そして、義務的経費については前年度と同額程度としながらも義務的性格の根拠を明示することとし、さらに、その他の経費については、前年度の90%の範囲内としています。



…一方、東京都においては、第一にオリンピック・パラリンピックの成功と次世代へのレガシーを作ること、第二に都政が直面する諸課題に迅速かつ的確に対応し、Society5.0（＝日本が提唱する未来社会のコンセプト。科学技術基本法に基づき、5年ごとに改定されている科学技術基本法の第5期のキャッチフレーズ）の実現に向けた施策など、東京都が成長を積み続ける成熟都市として進化を図るための取組みを積極果敢に進めること、第三に将来に渡る施策展開を支えるため、都政改革を更に進め、ワイズ・スペンディング（賢い支出）の視点により無駄の排除を徹底するなど財政基盤をより強固なものとするを基本方針としています。

…また、東京都の予算見積では『大規模地震や豪雨、猛暑への対策と備え、待機児童対策や高齢者ドライバーの交通事故防止など誰もが安心して暮らし、いきいきと活躍できる社会を築くための施策を着実に推進していくことが求められている』とも示されています。

…新たな時代にも対応し、発展していく長期的な視点で組む予算もとても重要ですが、今回の台風による被害を考慮すると、オリ・パラの成功も重要なことは頭で重々理解しながらも、足下の暮らしの安心安全のための施策の優先順位も増しているのではないかと感じます。

■東大和市の財政状況は

…来年度の予算編成を行ううえで、市の予算編成方針では、先日認定された昨年度の決算を参考に市の財政状況を確認、分析しています。

（歳入について）

雇用や所得環境の改善傾向や一部の法人の業績の好調により市民税は増収し、高齢者人口の増加に伴う社会保障関係経費の増額などを反映し普通交付税も増額したが、今後も社会保障関係経費の増加が見込まれるので、市税や国・東京都の交付金等による経常一般財源等の確保に継続的に取り組む必要がある。

（歳出について）

人件費は前年度比で約700万円の減となったが、依然として障害者福祉費や児童福祉費などで増加傾向が続いている。生活保護費も高止まりとなっている。

（公債費＝市の借金に係る費用について）

公債費は700万円の増となっている。新学校給食センター新築工事に係る市債借入額の元金償還が始まることにより、今後は増加する見込み。

（裏面に続く）

■東大和市の来年度予算編成の見通し

…前述の国や都の予算編成の方針や市の財政状況を受けての来年度の予算編成に向けての見通しなどについて、予算編成方針では以下のとおり明記されています。

・歳入では市民税については雇用・所得環境の改善状況を反映した内容が見込まれるが、都税に連動する交付金に関しては、国の税制改正の内容や影響等に留意する必要があり、現時点では確たる見通しは難しい状況。

・地方交付税については、国は引き続き「新経済・財政再生計画」との整合において、地方創生の取組みや業務改革の取組等について、その成果を算定に反映させていく方向性が示されているため、国が策定する地方財政計画及び地方財政対策の内容を十分に注視する必要がある。

・歳出については扶助費(障害者福祉・児童福祉・生活保護費など)が今年度予算規模を超えることが見込まれる。また、高齢化社会の進展に伴う医療・介護の給付が増加しているため、関連する特別会計への繰り出金も大きくなる。

・老朽化が進行している公共施設等の対応については学校施設の長寿命化など今後、多額の財源を必要とすることから国や都の補助金等の積極的な活用を図らなければならない。

…上記の歳入・歳出の見通しが示された後は「令和2年度においては、『日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまちづくり』を重要な施策として位置づけ、子育て支援と学校教育の充実を一層図り、シニアの方々の地域での活動を支援する施策を進めるほか、市の魅力を発信することにより市民の皆様が将来にわたって住み続けたいと思っただけの魅力あるまちづくりを考えている。これら施策の実現を図るための事業の予算化にあたっては、実施計画の財政収支の見通しからも困難な状況が見込まれるところであるが、引き続き、歳入の確保と経費の縮減に取り組むなど、適正な行財政運営に努め、市民サービスの向上を図ってほしいと考えている。」との市長の考えが示されていました。

■重要事項では

…重要施策については、「日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまちづくり」を最も重要な施策として位置づけ、「住みよい、活気のあるまちづくり」、「環境にやさしいまちづくり」、「福祉の行き渡ったまちづくり」、「地域力・教育力の向上」などの施策を推進していくとされ、大きな変更は「シニアが活躍できるまち」が追加された点のみでした。

…また、予算編成を行ううえでの重要事項としては、一般的事項は「市民の理解と信頼を得る事」や「持続可能な市政の実演のために実施計画における主要事業など取り組むべき課題に集中すること」、「行政改革に取り組むこと」、「長期的な視点に立つこと」などが従来通り示されていたほか、会計年度任用職員の導入や下水道事業特別

会計が公営企業会計に移行するなど、来年度からの新たな動きに対応した内容も含めて示されました。

■歳入予算の見積もりと歳入確保の取組

ア:市税については、税制改正の動向に留意し、課税客体的確に把握すること。また、収納率の向上に取り組むこと。

イ:国庫支出金及び都支出金については、国や東京都の予算編成の動向を的確に把握し、各事務事業の財源として積極的な活用を図ること。

ウ:分担金・負担金及び使用料・手数料については、受益者又は原因者の適正な負担を検討し、自主財源の確保を図ること。また、収納率の向上を図ることにより負担の公平性を保つこと。

エ:市有地等の活用を検討すること。

■歳出予算の見積もりと歳出縮減の取組

ア:政策的経費については、「(3)令和2年度予算の重要施策等」に基づき、「東大和市実施計画」に計上された主要事業を見積もること。

イ:経常的経費については、職員人件費や公債費等を除き、見積上限額の範囲内の額とし、かつ配当する一般財源の額を超えないこと。

ウ:事務改善を図り、合理化・効率化を進めることにより、事務管理経費や時間外勤務手当の縮減など積極的な取組を行うこと。

エ:会計年度任用職員に係る予算の計上については、業務の進め方を見直すなど、必要性等を十分に精査した上で、真に必要な配置分について見積もること。

オ:公共施設等の保全に係る経費のうち軽易な内容については、過去の実施状況等を踏まえて、その改善に必要な予算を見積もること。また、公共施設等の管理・運営に関しては、費用負担や効率性等を比較検討し、民間活力の導入を図ること。

■特別会計予算

特別会計として経理する原則を踏まえ、一般会計繰入金については、制度に基づき一般会計が負担する経費に係る基準内繰入金と、それ以外の基準外繰入金を明確に区分し、負担の適正化や経費の縮減等により、基準外繰入金の抑制を図ること。

■公営企業会計予算

公営企業会計となる下水道事業については、令和2年4月1日から地方公営企業法を適用し、公営企業会計へ移行することに伴う影響や、移行前後の変更点などを明確にすること。

…今回の予算編成方針から、東大和市の財政状況はギリギリということが読み取れます。そのような中、公共施設の老朽化など長年の懸案事項も待ったなしの状況であるうえ、新たな課題も出てきている中、“まじめ”が売りの東大和市政も、堅実さを維持しつつ、新たな視点や発想も持たなければ立ち行かないのではと感じます。ぜひ、そのような視点で様々な研究をし、改革を進めてほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元氣印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102